

令和3年度第2回 横浜能楽堂指定管理者選定評価委員会 会議録

- 1 日 時 令和4年1月13日（木） 13時00分から14時30分まで
- 2 場 所 横浜能楽堂 2階旧レストランスペース
- 3 出席者 横山 太郎 委員長、足立 文 委員、張 櫻馨 委員、諸貫 洋次 委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 議事内容

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 定足数の確認</li> <li>2 委員会の公開・非公開</li> <li>3 審議事項：「令和2年度業務評価」 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 評価関係資料について <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 評価資料及び評価方法の確認</li> <li>イ 指定管理者業務実績及び自己評価について</li> <li>ウ 行政評価について</li> </ol> </li> <li>(2) 指定管理者へのヒアリング（評価・改善点の説明）</li> </ol> </li> </ol>
議事・ 委員意見 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 定足数の確認 委員数4名のうち4名の出席により定数を充足しており、会議の成立を確認した。</li> <li>2 本委員会の公開・非公開について 横浜市の保有する情報の公開に関する条例第31条及び横浜能楽堂指定管理者選定評価委員会運営要綱第9条に基づき、公開とした。</li> <li>3 審議事項：「令和2年度業務評価」 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 評価関係資料について <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 評価資料及び評価方法の確認 事務局から、評価に使用する資料、評価方法について説明があった。</li> <li>イ 指定管理者業務実績及び自己評価について 指定管理者から、令和2年度の文化事業、施設運営、維持管理及び収支決算などについて、実績及び自己評価についての説明があった。</li> <li>ウ 行政評価について 評価表に基づき、事務局から行政評価について、要点の説明があった。</li> </ol> </li> <li>(2) 指定管理者へのヒアリング、評価・改善点の説明 委員から指定管理者に対する質疑及び評価内容（評価する点、更なる取組を期待する点）の説明を行った。</li> </ol> <p>&lt;主な質疑応答&gt; （以下「・」：委員、「→」：提案者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入の対予算と利用率の対目標を比較すると、減少の仕方が乖離しているように見えるため、説明いただきたい。</li> </ul> <p>→収入は4月分から3月分までの収入を計算しており、利用率は6月分から3月分までの平均値になっている。また、収入の大部分は本舞台の利用であり、本舞台利用</p> </li> </ol>

が減っているため、利用料金収入が下がっている。

・「初めての能楽教室」を終了する理由は何か。  
→これまで教室をやってきたが、募集人員が少なくなってきたり、リピーターが増えてきた。また、コロナ禍で教室の延期などもあり、短い期間でできるような講座、ワークショップなどを行うように転換した。

・アンケート調査の回答からは様々なヒントが得られる。改善を望む意見で具体的にどのような意見があったのか。  
→施設の老朽化が進んでいることもあり、トイレの改修や空調へのご意見が出ている。また、コロナで隣の席が空いている、前後が空いているという時期がしばらく続いて、今はそれがなくなり、隣、前後にお客様がいらっしゃるという状況の中で非常にストレスを感じる方が増えている。そういった意見に対して、場内アナウンスをちょっと工夫して呼びかけることや、場内にいる職員がこまめにお声をかけるといった対策を行っている。

・WEBページでの施設空き状況の情報提供について、検討課題が多いため、引き続き検討となっている。この検討課題というのはどのようなことか。  
→令和3年4月からWEBページでの施設空き状況の情報提供を行っている。今まで何故できなかったかという点、頻繁に利用される方があまりインターネットやウェブに慣れていない方が多く、必要性が高くなかった。しかし、外出自粛などで、必要性が高まってきた。

・外国人の方に向けたプロモーションの体制は、2020、2021の一時的なオリンピック対策だったのか、あるいは継続的に体制化されているのか  
→多言語対応の見学会などは今後も続けていく。  
オンラインを使った取組でも多言語化をこれから入れていく。  
外国人の方や、日本に住んでいる外国人の方に対して、これからも積極的にアプローチしていく。

#### 【評価する点】

- ・全体的に新しいことも行っており、評価できる場所は多かった。
- ・コロナ禍で、いろいろと制約がある中で、アーカイブ化など、できることをこの機会に逆手に取ってやっている。その姿勢は非常にすばらしい。
- ・ホームページも充実してきており、動画も様々な形で誰が見ても分かりやすい。

#### 【さらなる取組を期待する点】

- ・コロナ禍で、何がやれるのかトライ・アンド・エラーしながらやっていくしかない、その中で本当に効果があるものはなにかを見定め、今後も業務を進めて欲しい。
- ・多様性を打ち出しているのは、この能楽堂のブランド。バリアフリー能も先駆的で、多言語対応も進めている。そういう多様性に対応した施設だというブランドがどんどん認知されていくことを期待している。

#### 4 まとめ

本日の委員会で確認した内容を踏まえ、各委員は評価シートを改めて清書し、事務局で調整の上、委員会の最終評価内容としてまとめることとする。